

第 1 回 中城御殿跡地整備検討委員会 (令和 5 年度)

【資料 6】中城御殿正門前の照明計画について

1. 龍潭線の照明計画（現状）
2. 景観照明ライトアップ演出方針案（中城御殿正門石牆）

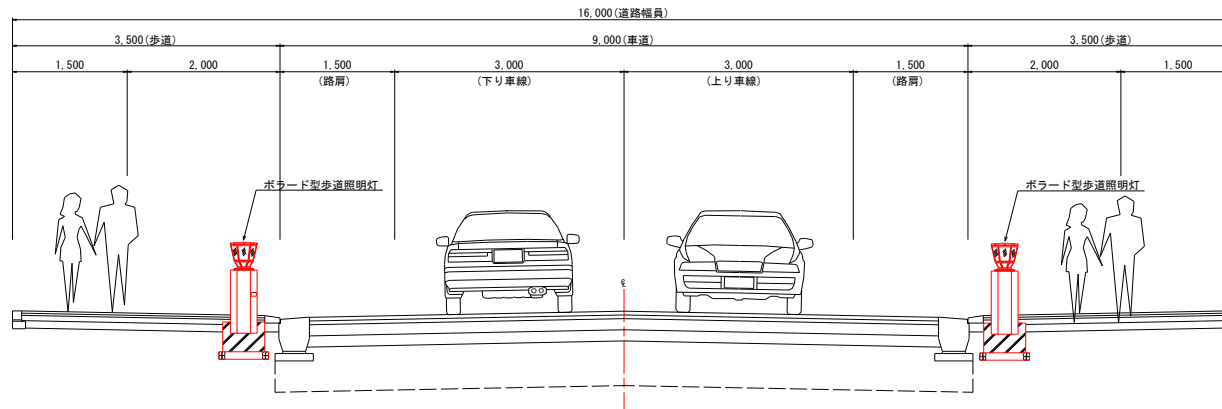
1. 龍潭線の照明計画（現状）

【現状】

- 龍潭線の夜間照明は、山川交差点～池端交差点において、沖縄の古典芸能である組踊で用いられる「手燭」をモチーフとした朱色のすり鉢形状灯具（以下、手燭型灯具とする）が設置されている。
- 現計画では、中城御殿の石牆前も手燭型灯具が設置される予定である。



小道具「手燭」（文化デジタルライブラリー）



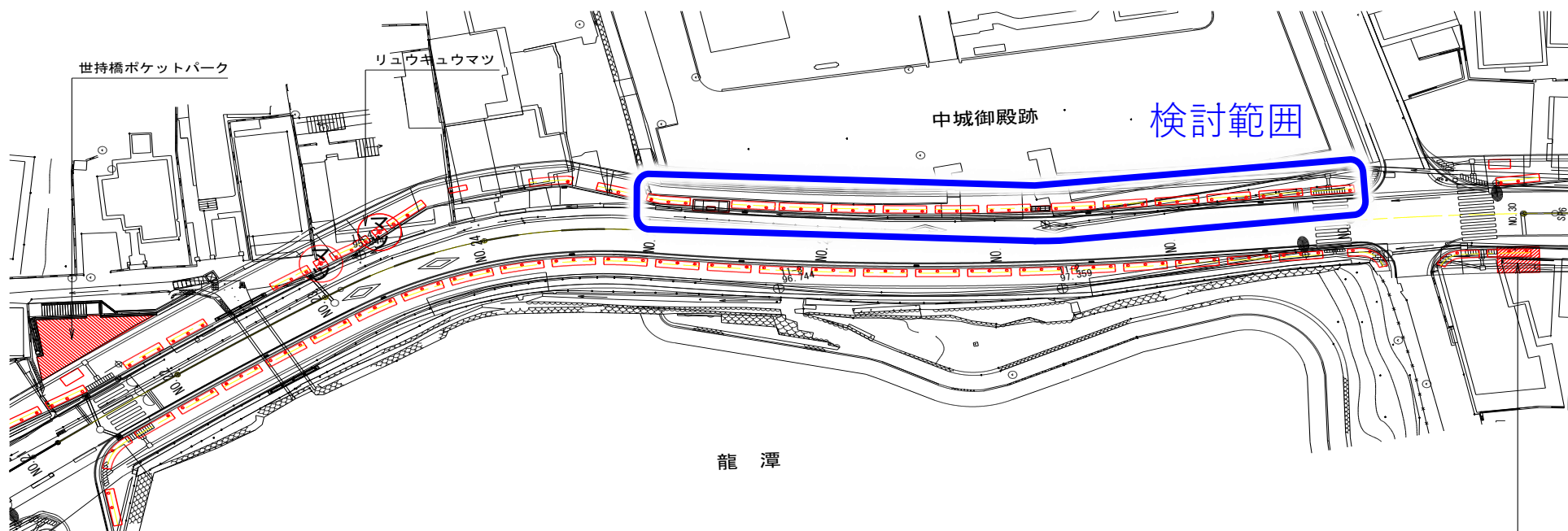
2. 景観照明ライトアップ演出方針案（中城御殿正門石牆）

【景観照明ライトアップ演出方針案の検討】

- 魅力ある夜間景観の創出を目指すため、中城御殿の正門前石牆についても追加検討を行った。
- 石牆の印象的な演出や、歩道における夜間歩行の視認性確保の観点から、正門石牆前の範囲については、手燭型灯具から歩道への埋込型ライトに変更し、石牆に反射した明かりで歩道を照らす案を検討中。

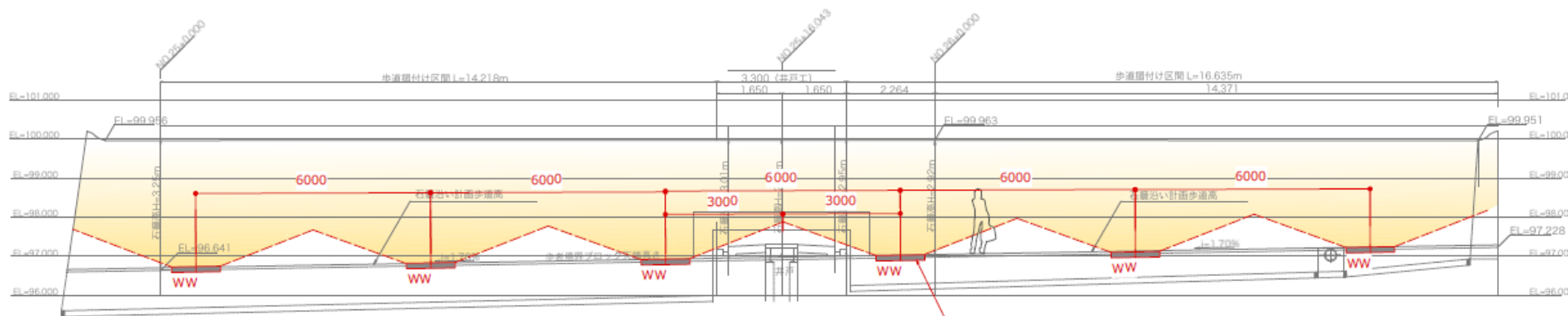
■ポイント

- 歩道の視認性を確保する（石牆からの反射光で平均照度11.6Lx）。
- 周辺から石牆を眺める視点を妨げない。
- 光による石牆の演出を図る。



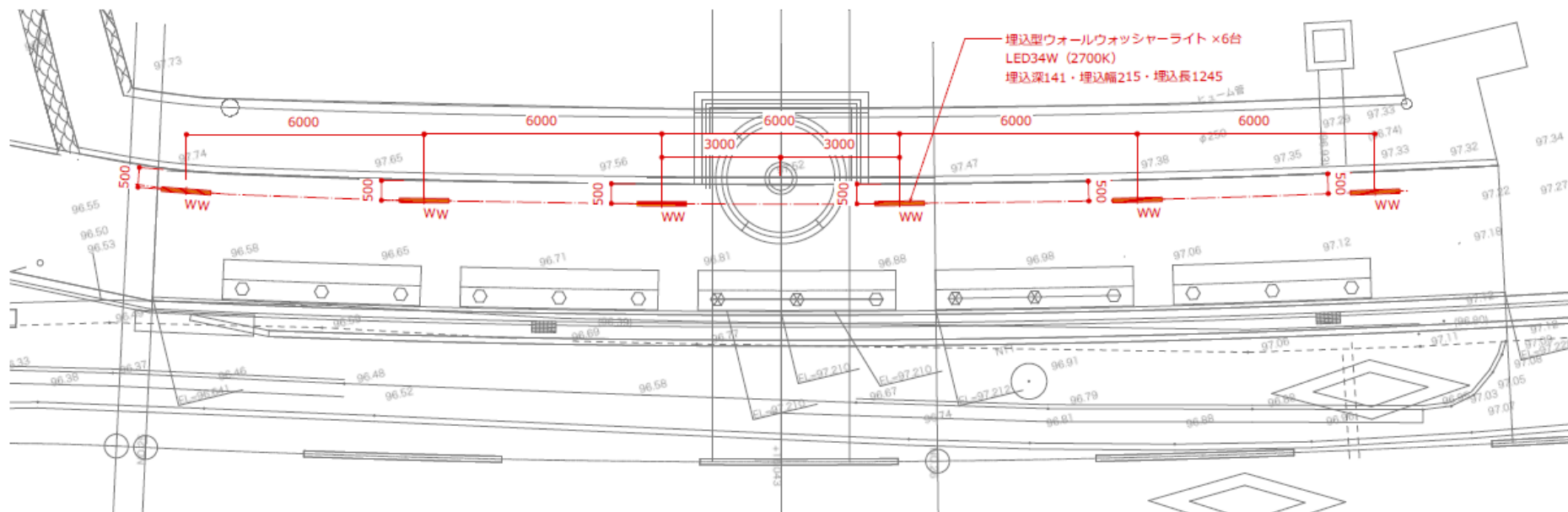


歩道照明配置図案



歩道照明配置図 (展開図)

埋込型ウォールウォッシャーライト × 6台
LED34W (2700K)
埋込深141・埋込幅215・埋込長1245



歩道照明配置図 (平面図)

埋込型ウォールウォッシャーライト × 6台
LED34W (2700K)
埋込深141・埋込幅215・埋込長1245

首里城公園における景観照明の考え方

04

琉球王国の栄華を誇る景観

かつての琉球王国の栄華を印象づけて歴史や文化を県民や観光客に感じてもらう趣のある夜間景観を創出



首里城公園

古都首里を象徴する美しい城郭の景観を活かし歴史や文化的な風致の更なる魅力向上を図り美しい夜間景観を形成します

城郭石積みみの曲線美

優美な曲線を描く琉球石灰岩の柔らかな表情を活かして、首里城の繊細で美しい光景を創出

来訪者への魅力ある光景

夜の観光拠点となる魅力ある光景を創出し昼間とは異なる二面性を演出することで首里城公園を核とするまちづくりに寄与する

安心・安全な夜の回遊動線

回遊動線は安全に散策ができる夜間景観を創出し、来園者の視線を誘導する分かりやすい足元照明を計画する

首里城公園城郭景観照明 光環境ゾーニング

06



照明デザイン及び照明手法の考え方

10



照明デザイン及び照明手法の考え方

12

